

川西市生涯学習事業補助金交付審査委員会規則をここに公布する。

令和7年11月21日

川西市長 越 田 謙 治 郎

川西市規則第 56 号

川西市生涯学習事業補助金交付審査委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川西市付属機関に関する条例（昭和52年川西市条例第3号）第3条の規定に基づき、川西市生涯学習事業補助金交付審査委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、市が公募する補助金及び助成金の相手方の選定に関する事項について調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 前号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

2 委員は、職務を遂行したと市長が認めるとき、又は前項各号に掲げる要件を欠くに至ったときは、解職されるものとする。

3 委員の任期は、3年以内とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(資料の提出等の要求)

第7条 委員会は、その所掌事務を遂行するために必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(委員の責務)

第8条 委員は、公正かつ公平に審査を行わなければならない。

- 2 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
- 3 委員は、審査事案に関する応募に参加してはならない。
- 4 前項の規定に反して委員が審査事案に関する応募に参加したことが判明したときは、委員会は、委員が関与した応募事業者を選考対象外とするものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、市民環境部生涯学習課において処理する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。ただし、委員会の運営に必要な事項は、委員会が別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

- 2 この規則の施行の日以後及び委員の任期満了後、最初に行われる委員会の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。